別紙５

ウェブアクセシビリティに関する要件

１．適合レベル及び対応度

- JIS X 8341-3:2016 のレベル AA に準拠すること。
- 本仕様書における「準拠」という表記は、情報通信アクセス協議会ウェブアクセシビリティ基盤委員会「ウェブコンテンツの JIS X 8341-3:2016 対応度表記ガイドライン 2016 年 3 月版」で定められた表記による。

２．対象範囲

- 今回作成する公開ページ及び管理ページ全て。
- ただし、ページ内に使用する PDF、エクセル、ワードなどの添付ファイルは除外する。

３．依存するウェブコンテンツ技術

- HTML5, CSS3 及び JavaScript 1.8.5

４．確認の実施

- HTML、CSS の雛形作成段階において、受託者にて達成基準への対応状況の確認を実施すること。ツールによる判定が可能な検証項目については、「みんなのアクセシビリティ評価ツール：miChecker (エムアイチェッカー)Ver.2.0」等のツールを用いた上で、そのツール名を記録すること。

５．試験の実施

- 納品前に JIS X 8341-3:2016 に基づく試験を実施する。受託者は試験結果について発注者に説明を行い、その了承を得ること。
- 試験の実施 においては、ツールによる判定だけでなく、人間による判断も行うこと。

６．試験の対象範囲

- JIS X 8341-3:2016 の「JB.1.2 ウェブページ一式単位」とし、「d）ウェブページ一式を代表するウェブページとランダムに選択したウェブページとを併せて選択する場合」にある方法を用いて、両方を合わせて 40 ページを選択して試験を実施すること。
- なお、ページ数の内訳は以下の通りとする。
  - ウェブページ一式を代表するウェブページ：15 ページ
  - ランダムに選択したウェブページ：25 ページ

７．達成方法及びその検証方法を特定できる技術的根拠（実装チェックリスト）の作成

- ウェブアクセシビリティ基盤委員会が公開している「JIS X 8341-3:2016 試験実施ガイドライン 2016 年 4 月版」の「3.1 達成方法及びその検証方法を特定できる技術的根拠を示す方法の

例」を参考にして実装チェックリストを作成すること。

８．達成基準チェックリストの作成

- ウェブアクセシビリティ基盤委員会が公開している「JIS X 8341-3:2016 試験実施ガイドライン 2016 年 4 月版」の「3.2 達成基準チェックリストの例」を参考にして作成すること。

９．成果物

- 適用する達成基準の要件を満たすことを示す試験結果資料
- 実装チェックリスト
- 達成基準チェックリスト
- 試験結果ページ